



「竹田を元気に」
一つの柱に

Yoshinori Ujita
氏田 善宣 さん
竹田市、30歳。WOOD
HOUSE代表取締役。竹
田市と大分市でもつ鍋
「隔はまたのぼる」を営
営している。3店舗目の
出店を計画中。



こだわりの商品を
作り続けて

Daisaku Ishii
石井 大作 さん
福岡県出身、35歳。イ
オン九州SV（スーパー
サイバー）部大分・宮
崎事業部の食品担当。2000年
に入社し、昨年9月から現
職。宮崎県日向市在住。



県域をこえた
つながりを

Nazomi Mai
舞 希 さん
竹田市、28歳。竹田市商工
観光課主事。スターバックス
コーヒージャパンでの
勤務を経て、2011年から
竹田市役所に勤務。人を呼
ぶ仕掛けに興味がある。



株式会社つくて
子ども雇いたい

Katsumi Sato
佐藤 勝己 さん
竹田市萩町、40歳。「さ
とう農園」でトマトを生産す
る。ダイエー勤務を経て
1993年に就農。割れた完
熟トマトで「おはようト
マトジュース」を作っている。



人こそがその場の
空気をつくる

Shintaro Iwakiri
岩切 慎太郎 さん
竹田市久住町、29歳。宮
崎県出身。研修センター
と体験農園の運営を手掛
ける「くしふるの大地」取
締役。竹田はあとプロ
ジェクト協議会長。



残すものと
変えるもの
見極めて

Bunsaku Shuto
首藤 文作 さん
竹田市直入町、27歳。「常
聖・天空」代表。立教大学
在学中に「常聖・天空」を
設立。「ガコ湯本舗 天
風庵」を経営し、料理人とし
ても修業中。



かめばかむほど
味が出る地域

Asuka Shiga
志賀 明日香 さん
竹田市久住町、28歳。竹
田市企画情報課。大学卒業
後、民間企業を経て2010
年、竹田市役所に入社。大
学連携事業、竹田総合学
院事業などを担当。



米粉パンづくりに
挑戦したい

Shigenao Nojiri
野尻 成尚 さん
竹田市萩町、37歳。農業
生産法人「田んぼ屋のじ
り」専務。2007年に就農
し、中山間地域では難し
い水稲と飼料米の大規模
栽培を手掛ける。



やる気のある人を
バックアップ

Shingo Ono
小野 真吾 さん
竹田市直入町、35歳。竹
田市農政課農業振興係
主査。農業振興地域整備
計画、加工、直売、グリー
ンツーリズムを担当して
いる。



今から魅力
どんどん出てくる

Shoho Kusakari
草刈 樵峰 さん
竹田市、45歳。書家・空間
プロデューサー。21歳で師
に付き、1997年に書道師
範を取得。創作活動の傍
ら、大分市と竹田市で書道
教室「樵峰書研」を主宰。



「伝える力」
磨いていって

Teruaki Naka
那賀 輝彰 さん
大分市出身、36歳。JR九
州本社旅行事業部営業創
造課主査。法政大学を卒
業後、JR九州へ入社。旅
行事業本部でマーケティング
を担当している。



まちづくりの
ムーブメント加速を

Akio Nakano
中野 暁男 さん
1993年大分合同新聞社
入社。社会部、竹田支局な
どを経て報道部課長。42
歳。竹田を離れてはや3カ
月。いまだ家族の会話が
「せつちい」は定番です。



伝統守るために
仲間を増やして

Seiji Miura
三浦 誠二 さん
1995年大分合同新聞社
入社。経済部、運動部など
を経て中津支社長。42
歳。竹田の魅力の多さを
再認識。若手リーダーの
熱い心に刺激を受けた。



全体で共有し
共存共栄の意識を

Eiji Anan
阿南 英二 さん
1997年大分合同新聞社
入社。整理部課長。38歳。
あふれんばかりの「地元
愛」を実感。消費者や観光
客と共有できたら、もっ
とハッピーになりますよ。



馬に乗ってロマン
あふれる牛飼いに

Shunsuke Ueki
植木 俊輔 さん
竹田市久住町、32歳。久
住高野の植木牧場で100頭
の肥育兼牛生産を行う。和
牛生産者会の「はなぐり
会」に所属し、農業の6次化
についても学んでいる。



回遊性を
つくるのが重要

Tetsuro Miura
三浦 哲郎 さん
大分市、32歳。大分ベン
チャーキャピタル企業支
援部サブマネージャー。金
融機関での法人金融を経
験後、2009年入社。事業
再生ファンドの運営に従事。



突き詰めれば
ストーリー性

Shoichiro Kai
甲斐 昇一郎 さん
竹田市、35歳。養豚業、養
鶏業などを手掛ける藤野
商店副社長。同社勤務を
経て2004年に入社。自社
での人材育成とチームワ
ークの醸成を考えている。



キーワードは
「連携」

Yoichiro Kan
菅 洋一郎 さん
竹田市、45歳。ホテル岩
屋支那人。法政大学経済
学部を卒業後、東海観光
での勤務を経て、1996年
に岩屋屋入社。竹田の人
口減少が気になる。

たけだし 竹田市 ハピ ミライデザイン会議 カム 突っ走れ！必ず支える人がいる

大分合同新聞社が、「地域や人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いで取り組んでいるプロジェク
ト・ミライデザイン会議「ハピカム」。第7弾の竹田市編が6月15日、竹田市総合社会福祉センターなどであった。くじゅう連山などの山々から育まれる湧水群、豊かな温泉、
そして江戸時代に形成された歴史情緒あふれる町並みなど、地域の個性が光る竹田市。将来を担う若手リーダーと同世代の大分合同新聞社員らが、分科会と総括会議を通
して竹田の未来デザインを探った。「農業（コーディネーター／三浦誠二）」「観光（コーディネーター／阿南英二）」「創品（コーディネーター／中野暁男）」の3分科会では、関連
分野の現場で活躍する若手リーダーが4人ずつ出席。外部のアドバイザーやコーディネーターの記者と共に地域の未来について語り合った。分科会の内容をテーマごとに紹
介する。総合アドバイザーは大分大学工学部助教の姫野由香氏。総合コーディネーターは佐藤一郎・大分合同新聞社校閲部長。

主催：大分合同新聞社 共催：竹田市 竹田商工会議所 九州アルプス商工会 協賛：国立大学法大 大分大学 ㈱大分銀行 ㈱NTTドコモ九州大分支店 日本たばこ産業㈱熊本支店 くじゅう花公園

総合アドバイザー	総合コーディネーター
 Yuka Himeno 姫野 由香 さん 大分市、37歳。大分大 学工学部助教、工学博 士。専門は建築・都市 計画。景観創造、景観 維持を中心に、自主的 な地域運営についても 研究中。	 Ichiro Sato 佐藤 一郎 さん 1992年大分合同新 聞社入社。整理部を経 て校閲部長。45歳。魅 力あふれる人たちに、 魅力的な観光資源。キ ラキラ輝く竹田のファ ン！
総括会議の様子は7月5日（金）の朝刊をご覧ください。 ウェブ http://www.oita-press.co.jp スマホ http://www.oita-press.co.jp/h-come/	

大分銀行は、豊かな自然と
潤いのある生活をサポートします。

